【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | 泉北高速光明池駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成14年度（2002年度） |
| ③地区選定理由 | （１）交通バリアフリー基本構想策定にあたっての第１次抽出の視点  ①通勤・通学の利用が多い、あるいは商業施設の集積が高い地区で、バリアフリー化を今後とも進める必要がある地区  ③主要な公共公益施設が立地または計画されている地区  ④駅の改良・新設および駅周辺地区の開発・整備が計画されている地区  （２）平成14年度基本構想策定地区の絞込み理由  ○主要な福祉施設等が分布する地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  （平成11年度）38,819人⇒（平成30年度）30,452人  【地区特性（策定当時）】  ・本地区は、堺市と和泉市にまたがる区域となっており、堺市の南の玄関口、泉北ニュータウンの南西部に位置し、和泉市の東の玄関口、中東部に位置する地区である。  ・本地区は、福祉ゾーンとして位置づけられており、地区内には、福祉施設、医療施設が集積している。また、近年、大規模商業店舗を中心とした施設の立地が進んでおり、広域からの集客力も高まっている。  ・本地区は、鉄道と周辺地馘へのバスの交通結節点としての機能も有している。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  対象となる経路なし |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ○鉄道駅  ・エレベーターなどバリアフリー化の施設整備が一定行われている。  ・今後の施設の更新に伴い、案内サイン、誘導ブロックの改良など利便性の高い施設への更新が課題。  ○駅前広場  ・駅前広場と歩行者用デッキを結ぶスロープの勾配が急であり、段差解消の対策が必要である。  ・駅前広場におけるバス関連施設等の改良。  ・駅前広場を含む駅の周辺地区において、主要施設の案内・誘導サインの設置・改良が必要。  ○道路  ・地区内の歩道は、住宅地の開発に伴い一定整備がされているが、一部の場所での段差・勾配等の改良が必要。  ○信号・交差点  ・特定経路における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・平成21（2009）年　サンプラザ光明池開業  ・平成27（2015）年　光明池アクト開業 |